



ミニシリーズ
3ポートUSBデュプリケーター
UB300
取扱説明書



目次

製品に関する免責事項.....	3
製品保証について.....	3
著作権侵害に関する声明.....	3
はじめに.....	4
本製品の特長.....	5
製品内容.....	5
各部の名称.....	6
機能一覧表.....	7
機能説明.....	9
コピー前の設定.....	14
コピーの失敗を防ぐためには.....	13
メディアの品質をチェックする方法.....	15
メディア品質チェック -その他のツール-	17
フォーマット機能.....	18
消去機能.....	19
メディア/システム情報.....	20
その他の設定.....	21
システムアップデート（ファームウェアアップデート）.....	22
Q&A.....	23
製品仕様.....	25

製品に関する免責事項

弊社は、偶発的または派生的な損害について、一切責任を負いません。これには、U-Reach 製品の使用による財産の損害、時間やデータの損失、または製品の誤動作や故障に起因するその他の損害を含みますが、これらに限定されません。また、これには、(1)提供された資料への依存、(2)製品の交換費用、(3)使用、データまたは利益の損失、(4)遅延または事業の中断、(5)U-Reach 製品の使用や全体の性能に起因または関連する法的責任の原則、または、サービスの遅延またはサービス提供能力の欠如によって生じる法的責任の原則に起因する損害も含みますが、これらに限定されません。

弊社は、すべての製品の正確な動作を保証するために尽力しています。ただし、お客様は、U-Reach 製品の性能がお客様の品質要件を満たしていることを確認する責任を負っています。また、製品および/またはソフトウェアプログラムの誤った操作やハードウェアの問題により、データの損失、フォーマット不良、データ読み込みエラーが発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。弊社は、お客様が確認された問題を、保証範囲内であれば無料で、それ以外の場合は作業時間と必要部品に基づき有料で、解決または修理するよう最善を尽くします。

仕様および機能は、予告または義務なく変更される場合があります。

製品保証について

弊社は、ケーブル、アダプター、その他の消耗品を除くすべての製品に対して、基本的な1年間の部品および修理保証を提供します。任意の延長保証も有料でご加入いただくことができます。弊社が定めた製品保守サポート期間中、電子メールによるサポートが利用可能です。

保証についてはお客様が製品を購入した市場地域に限定して定義されています。

著作権侵害に関する声明

弊社は、お客様がU-Reach 製品を用いて行った著作権侵害、または製品の誤用について一切の責任を負いません。音声や動画、ソフトウェア等、あらゆる形のデータを著作権者の許可なしでコピーすることは違法です。お客様は、著作権所有者の法律に基づく著作権が確実に尊重されることに単独の責任を負うものとします。

はじめに

重要なお知らせ

- 操作する前に、マニュアル全文にしっかりと目を通してください。
- コピー元デバイスが正しく対応しており、正常に動作していることをご確認ください。
- データの整合性を保証するために、ソース（コピー元）とターゲット（コピー先）の容量を同じにすることをお勧めします。
- コピー+コンペア機能を使用することで、より確実にコピーを行うことができます。
- 本取扱説明書に従わなかったために発生した損害は、保証の対象外となります。

安全上の注意

- ソケットを交換する前に必ずデュプリケータの電源をきってください。
- ファームウェアの更新中は、絶対に電源を切らないでください。
- 承認済みの安定した電源のみを使用してください。
- 本製品は、清潔で、乾燥した、埃のない、換気の良い場所でのみ使用してください。液体や異物がデュプリケータ内部に入り込むと重大な損傷を与える可能性があります。

本製品の特長

- 最大1.5GB/分(25MB/秒)でのコピーが可能
- コピー、コンペア、メディアチェック、フォーマットのいずれの機能も、すべて独立して実行されるため、複数メディアを同時に処理しても速度が低下することがありません。
- パワフルなメディアチェック機能搭載
- PC不要のスタンドアロン動作のため、ウイルス感染リスクがありません。
- ボタン一つでコピー可能。LCDディスプレイにリアルタイムで進捗状況が表示されます。
- 同期/非同期のコピー/比較/消去/フォーマット/メディアチェック/スピードチェックに対応
- 高速な Bit for Bit コンペア機能を搭載
- メディアの品質に合わせて、さまざまなコピー速度を用意しています。
- メディア品質管理のための容量/速度フィルタリング機能を搭載

製品内容

- ・ デュプリケータ本体、専用ACアダプター、ユーザーマニュアル



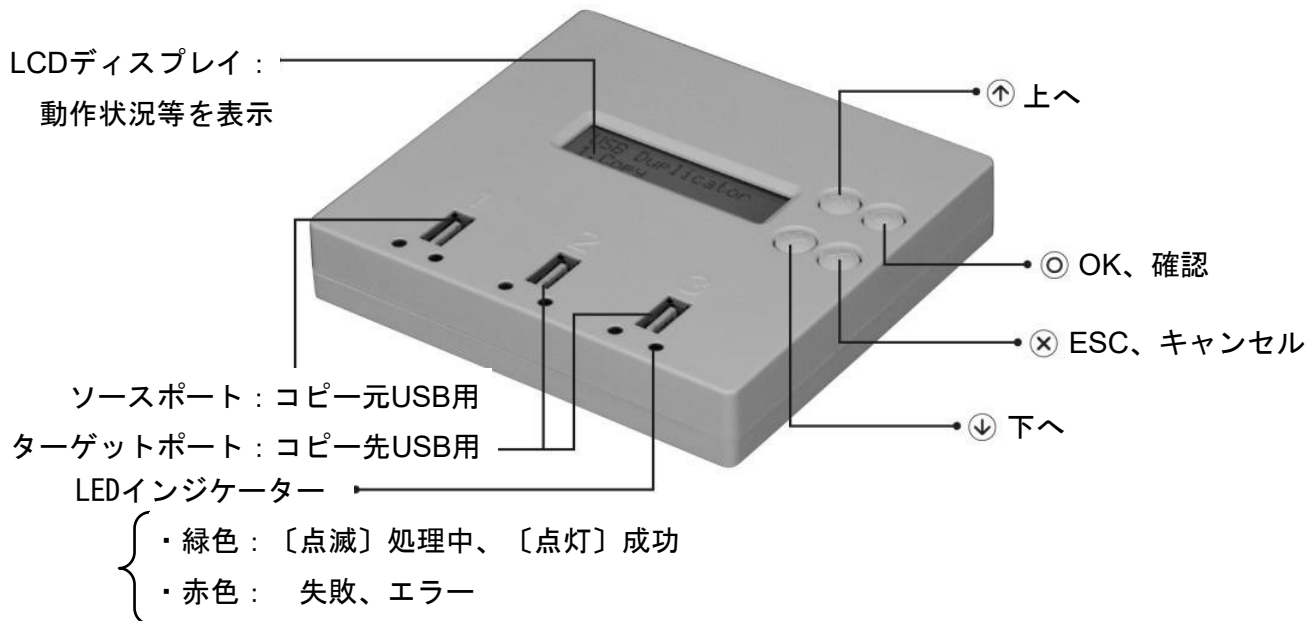
UB300



ACアダプター

各部の名称

前面



背面



LCDディスプレイ



機能一覧表

機能	説明	
1. Copy (コピー)	データ領域のみまたはメディア全体のコピーを行います。	
2. Compare (コンペア)	コピー元とコピー先のUSBメディアをビット単位でコンペア(比較検証)します。	
3. Copy+Compare (コピー&コンペア)	データのコピー後、そのまま続けてコンペアを行います。	
4. Capacity Check (容量チェック)	USBメディアの実容量をチェックします。	
5. Information (情報)	5.1 USB Info. USBメディアのデータ情報、フォーマット形式、データサイズおよび容量を表示します。	
	5.2 System Info. デュプリケーター本体のモデル番号やファームウェアのバージョンなどのシステム情報を表示します。	
6. Utility (ユーティリティ)	6.1 Do Format	6.1.1 Auto Format 自動的にFAT16またはFAT32フォーマットします。
		6.1.2 FAT16 Format FAT16形式でフォーマットします。
		6.1.3 FAT32 Format FAT32形式でフォーマットします。
	6.2 Measure Speed USBメディアのリードライト速度を測定します。 この機能を使用すると、データおよびフォーマット形式は消去されます。	
	6.3 Media Check	6.3.1 H3 Safe 100% データの読み取りを行うことでUSBメディアの品質をチェックします。データ内容やフォーマットは変更されません。
		6.3.2 H5 RW 100% データの読み取り書き込みを行うことでUSBメディアの品質をチェックします。データ内容やフォーマットは変更されます。
		6.3.3 Setup Range USBメディアのチェック範囲をパーセンテージで指定します。
		6.3.4 Set Error Limit USBメディアをチェックする際のエラー許容範囲を設定します。(単位:セクタ/KB/MB)
	6.4 Quick Erase USBメディアのデータを高速消去します。フォーマット形式は維持されます。	

	<p>6.5 Full Erase USBメディアのデータをすべて消去します。フォーマット形式も消去されます。</p> <p>6.6 DoD Erase DoD規格に基づき、データを3回連続で上書き消去します。 フォーマット形式も消去されます。</p> <p>6.7 System Update USBメディアを使用して、デュプリケーター本体のファームウェアをアップデートします。</p> <p>6.8 Calc. CheckSum ソースポート(コピー元)USBメディアのチェックサム値を計算します。</p>			
7. Setup(設定)	<p>7.1 Start-up Menu 起動時に表示される機能を選択します。</p>			
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">7.2 Copy Area</td> <td> <p>7.2.1 System and Files USBメディア内のデータ領域のみをコピーします。対応フォーマットはFAT16/32, NTFS, Linux - ext2/ext3/ext4となります。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>7.2.2 Whole Media 空き領域を含むUSBメディアのすべての領域をコピーします。</p> </td> </tr> </table>	7.2 Copy Area	<p>7.2.1 System and Files USBメディア内のデータ領域のみをコピーします。対応フォーマットはFAT16/32, NTFS, Linux - ext2/ext3/ext4となります。</p>	<p>7.2.2 Whole Media 空き領域を含むUSBメディアのすべての領域をコピーします。</p>
	7.2 Copy Area		<p>7.2.1 System and Files USBメディア内のデータ領域のみをコピーします。対応フォーマットはFAT16/32, NTFS, Linux - ext2/ext3/ext4となります。</p>	
		<p>7.2.2 Whole Media 空き領域を含むUSBメディアのすべての領域をコピーします。</p>		
	<p>7.3 Button Beep ボタン押下時のビープ音のオン・オフを設定します。</p>			
	<p>7.4 Asynchronous Hold Time 非同期機能有効時、続行または戻るの表示時間を設定します。</p>			
	<p>7.5 Target Tolerance コピー元とコピー先での容量許容範囲を設定します。 デフォルト設定は「No limit」に設定されています。</p>			
	<p>7.6 Asynchronous 非同期機能の有効、無効を設定します。有効にする場合は「Enable」無効にする場合は「Disable」にします。</p>			
	<p>7.7 Check Before Copy コピーを行う前にUSBメディアのチェックをする、しないを設定します。</p>			
	<p>7.8 Power Off Time Between Copy+Compare コピーとコンペアの間の給電停止時間を設定します。</p>			
	<p>7.9 Language 言語を選択します(英語/日本語)</p>			
	<p>7.10 Working Mode 転送速度を設定します。</p>			
	<p>7.11 Set HDD Mode USBメディアの種類を設定します。USBメモリまたはUSB HDDの切り替えが可能です。</p>			
<p>7.12 Restore Default すべての値を初期値に戻します。</p>				

機能説明

1. コピー [Copy]

コピーには、同期コピーと非同期コピーの2種類のコピーモードがあります。

- ・同期コピー：複数のコピー先USBメディアに対して同時にコピー
- ・非同期コピー：複数のUSBメディアに対して、挿した順にコピー、完了順に取り外しがOK

コピー機能を実行する前に、システムはコピー元USBメディアのデータ容量をチェックします。

「7.6 Asynchronous（非同期設定）」を有効にすることで、コピー元USBメディアのデータ容量がデュプリケータ本体のバッファメモリ（128MB）より少ない場合のみ、自動的に非同期コピーが開始されます。

コピー元USBメディアのデータ容量がデュプリケータ本体のバッファメモリ（128MB）以上の場合は、「7.6 Asynchronous（非同期設定）」の設定に関わらず、同期コピーが開始されます。

非同期コピーが実行可能な条件		
	非同期コピー無効化（Disable）	非同期コピー有効化（Enable）
データ \geq 128MB (バッファ)	×	×
データ < 128MB (バッファ)	×	○

【同期コピーの手順】

Step 1：「7.6 Asynchronous（非同期設定）」で「Disable（無効）」を選択します。

Step 2：コピー元USBメディアをソースポートに、コピー先USBメディアをターゲットポートに挿入します。

注記

コピー先 USB メディアの容量はコピー元 USB メディアの容量と同じ、またはそれより大きい必要があります。

Step 3：コピー前に「7. Setup >> 7.2 Copy Area」でコピー領域を設定します。

「System and Files」（システム&ファイルコピー）または「Whole Media」（メディア全体コピー）のいずれかを選択します。

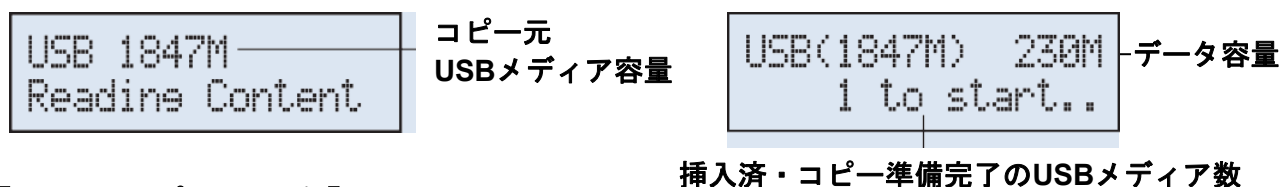
「System and Files」を選択	「Whole Media」を選択
1. Copy (Data)	1. Copy (Whole)

注記

- コピー領域設定に関する詳細については、後述の 7.1 コピー領域 (Copy Area) をお読みいただき、よくご確認ください。
- 7. セットアップ (Setup) でコピー処理に関する各種設定が可能です。

Step 4 : 「1. Copy」を選択してから、**◎**を押して、コピーを開始します。

コピー元USBメディア、コピー先USBメディアの順に読み込まれ、下記のように表示されます。



【1 : 1 コピーの場合】

コピー元およびコピー先USBメディアの準備がOKであれば、再度、**◎**を押してコピーを開始します。

【1 : 2 コピーの場合】

「1. Copy」を選択して**◎**を押した時点でコピーが開始されます。

下記はコピー中にLCDディスプレイに表示される情報です。



注記

コピー中にESCキーを5秒間押すと、コピー処理が停止します。

警告

手動でコピー処理を停止した後はデュプリケーターを再起動してください。

Step 5 : コピー完了です!

コピーが完了すると、合計コピー時間とコピー結果（成功または失敗したUSBメディア数）がLCDディスプレイに表示されます。

TOTAL OK: 1 NG: 0
01:06 OK: 1 NG: 0

注記

LEDインジケーターにより、コピー状況を確認することができます。

- ・ 緑色：〔点滅〕処理中、〔点灯〕成功
- ・ 赤色： エラー

警告

- コピー処理中にUSBメディアが取り外された場合、処理は直ちに停止し、赤色LEDが点灯してコピーが失敗したことを通知します。コピー中のUSBメディアの取り外しは、USBメディアの破損につながりますので絶対におやめください。
- コピーを実行すると、コピー先USBメディアのデータは全て上書きされ、元のデータは失われます。コピー先USBメディアに大事なデータが入っている場合はコピー前に必ずバックアップをとってください。

【非同期コピーの手順】

Step 1 : 「7.6 Asynchronous（非同期設定）」で「Enable（有効）」を選択します。

注記

コピー元USBメディアには、データ容量がデュプリケーター本体のバッファメモリ（128MB）より少ないものを用いる必要があります。
※ 非同期コピー実行の必要条件

Step 2 : コピー元USBメディアをソースポートに、コピー先USBメディアをターゲットポートに挿入します。

Step 3 : コピー前に「7. Setup >> 7.2 Copy Area」でコピー領域を設定します。

Step 4 : 「1. Copy」を選択してから、◎を押して、コピーを開始します。

◎を押すと、コピー元USBメディアのデータ内容がシステムのバッファメモリに読み込まれます。読み込みが完了するとすぐにコピーが開始されます。

USB (1847M)	39M
Reading	30M

Step 5 : コピー完了順に取り外し、次の新しいUSBメディアへのコピーが可能です。

コピーが完了したUSBメディアから順に取り出し、新しいUSBメディアを挿入して、繰り返しコピーすることができます。LCDディスプレイには、累積コピー結果（コピー成功/失敗USBメディア数）とコピー処理中USBメディア数が表示されます。

コピー成功USBメディア数

Pass: 2	COPY
Fail: 0	0

コピー失敗USBメディア数 コピー処理中USBメディア数

注記

- 緑色 LED が点滅しているコピー中は、USB メディアを取り外さないでください。
- コピーが完了し、緑色 LED が点滅から点灯になると、完了したターゲットポートから USB メディアを取り外して次の新しい USB メディアを挿入できます。
- 非同期コピー中に ↑ ↓ キーを押すと、各 USB メディアのコピー状態と進行状況を確認できます。
- エラー（赤色 LED 点灯）が発生した場合も、↑ ↓ キーを押して各 USB メディアの状態を確認することができます。

[#1]	39M
WRITE	30M

[#1]	39M
PASS !	

2. コンペア [Compare]

コンペア機能は、コピー元とコピー先のUSBメディアの間でコピー結果の正確性を比較検証します。コピー完了後、「2.Compare」を選択し「OK」を押してコンペアを開始します

USB Duplicator
2. Compare

3. コピー+コンペア [Copy+Compare]

コピー完了後に続けて自動的にデータの比較検証を行います。

「3. Copy+Compare」を選択し、「OK」を押すと自動的にコピーとコンペアが開始されます。

USB Duplicator
3. Copy+Compare

★正確なコピーを確実に行うには？

UB300は、最も正確な「コンペア」機能を提供し、最も信頼性の高いコピーをお客様に提供します。コピーの精度を保証するために、「2. Compare」または「3. Copy+Compare」の機能を使用することを強くお勧めします。

注記

コンペア機能はビット単位での厳密な比較を行い、コピーされたデータを検証します。これによりデータの精度が大幅に向上します。

一方、チェックサム値計算機能では、コピー元USBメディアのデータにエラーがないか調べることができません。

6.8 チェックサム値計算機能 [Calc. Checksum]

コピー元 USB メディアのチェックサム値を計算します。この機能はコピー元 USB メディアのデータにエラーがないかどうかを調べる簡単な方法です。

注記

コピー先 USB メディアにおけるコピー結果の品質に関しては、ユーザー自身が責任を持ってチェックを行う必要があります。

コピー前の設定

コピーに関連する複数のサブ機能を[7.Setup]で設定可能です。

1. コピー領域設定 [7.2 Copy Area]

① コピー領域: System and Files(システム&ファイル)

データ部分のみをコピーします。コピー元のフォーマット形式は自動的に分析され、フォーマット形式がFAT16/32/64、NTFS、ext2/3/4の場合は、データのみのコピーが可能です。データ部分のみをコピーするため、全体コピーより短時間でコピーが完了します。



注意

フォーマット形式が分析できなかった場合、自動的に全体コピーへ移行します。

② コピー領域: Whole Media(全体コピー)

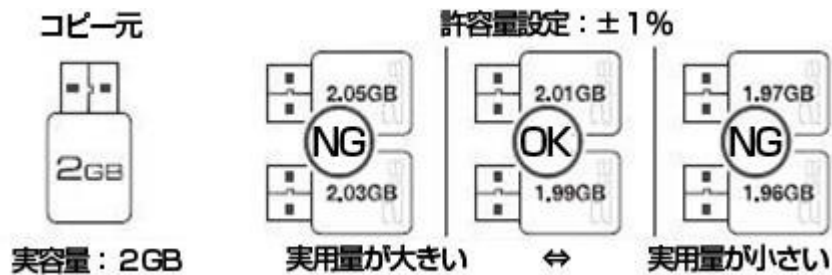
未使用領域を含むメディア全体をコピーします。システム&ファイルコピーに対応していないフォーマット形式や、空き容量を含めて完全なコピーを行いたい場合に使用します。



2. 許容値の設定 [7.5 Target Tolerance]

この機能は、コピー元 USB メディアとコピー先 USB メディア間の容量許容範囲を設定します。容量が許容範囲外の場合、コピーは行われません。

たとえば、コピー先の許容容量誤差が±1%に設定されている場合、容量が 2.02GB 以上、1.98GB 以下のターゲットはコピーされません。



3. 非同期設定 [7.6 Asynchronous]

1. コピー [Copy]の同期コピーの手順および非同期コピーの手順を参照

4. コピー→コンペア間の電源オフ時間設定

[7.8 Power Off Time Between Copy+Compare]

コピーからコンペアに移行する際の電源オフ時間が短すぎると、USB メディアが不安定になり、データが失われる場合があります。本設定はコピー→コンペア間の電源オフ時間を秒単位で設定できます(0~15秒)。デフォルトは 3 秒に設定されています。

[Power Off Time Between]

3

コピーの失敗を防ぐためには

1. 安定したデバイス選択

① 全ての機器を正しく接続する

接続を行うためのケーブルやアダプターなどは、すべて正しく接続を行ってください。



② 安定したメディアを使用する

コピー先には品質の安定しているメディアを使用してください。



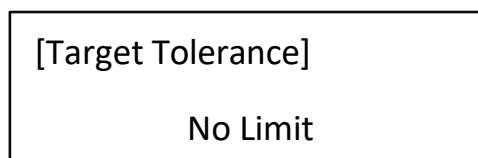
③ 安定したコピー元メディアを用意する。

コピー元にも必ず安定した品質のメディアを使用してください。

2. 適切なデータと設定

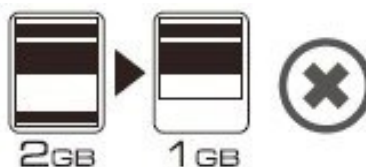
① コピー先容量の許容範囲の設定 [7.4 Target Tolerance]

“Target Tolerance”は、コピー元とコピー先間の容量差異をチェックします。設定値(%)を超える、または下回るメディアに対してコピーを行わないようにします。デフォルトは制限なし(No Limit)です。



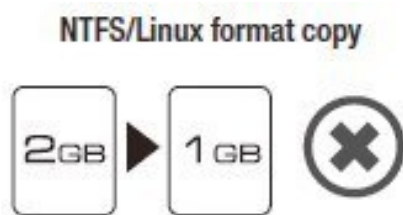
② コピー元のデータ容量

コピー元のデータ容量がコピー先メディアの容量範囲内であることを確認してください。



③ コピー先のデータ容量

システム&ファイルコピーを行う際は、コピー先容量がコピー元と同容量か大きい必要があります。
容量が少ない場合はコピーできません。



メディアの品質をチェックする方法

本製品はコピーだけでなく、USB メディアの品質や実容量、速度を検証する強力なチェック機能を搭載しています。高品質の USB メディアを選別するためにも本チェック機能を使用してメディアの検証を行うことをお勧めします。

3 種類のメディアチェック機能

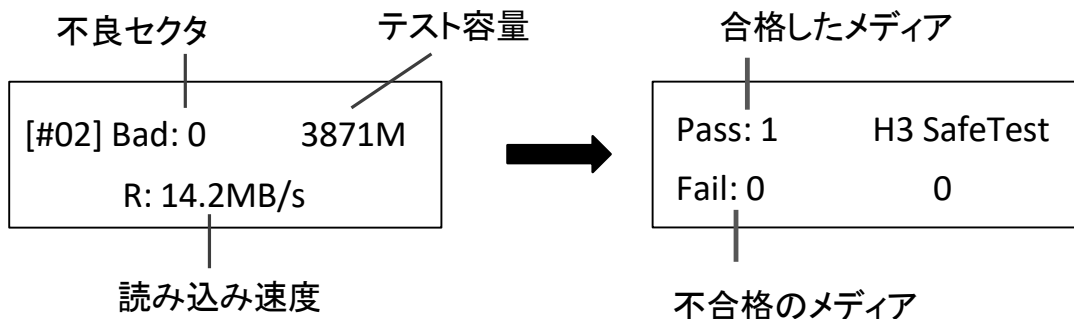
H3 Read Only Test	この機能は、読み込みテストを実行して USB メディアの品質をチェックします。メディア内のデータは消去されることはありません。
H5 Write/Read Test	この機能は読み込みに加え書き込みのテストを行いメディアの品質をチェックします。メディア内のデータは消去されるのでご注意ください。

チェックの際、下記の詳細設定を行うことで、基準に満たないメディアを検出することが可能です。

- テスト領域
- 最小読み込み速度
- 最小書き込み速度
- エラーカウント
- 容量制限

1. H3 Safe100% [6.3.1 H3 Safe]

この機能は読み込みテストを行い、メディアの品質をチェックします。この機能を実行すると、不良セクタ数と読み込み速度が表示されます。



Tips

この機能はメディア内のデータに影響を与えません。
メディアチェック範囲は[6.3.Media Check]>>[Setup Range]で指定できます。

2. H5 RW [6.3.2 RW]

この機能は読み書きテストを行い、メディアの品質をチェックします。この機能を実行すると、不良セクタ数と読み込み速度が表示されます。

▲▼ボタンを使用して各ポートの状態を表示します。

	不良セクタ	テスト容量	
	[#02] Bad: 0	3871M	
	W:7.2 M/s	R: 14.2M/s	
	読み込み速度	書き込み速度	

Note

この機能は、メディア内のデータを消去してテストを行います。重要なデータが保存されている場合は、バックアップ等をしたうえで行ってください。

テストが完了すると自動的に FAT 16/32 でフォーマットされます。

ソースデータ保護のため、コピー元に接続したメディアのチェックは行いません。

4. 設定

① Setup Range [6.3.3 Setup Range]

メディア内のチェック容量範囲をパーセンテージで指定します。▲▼ボタンを使って1～100%の範囲を設定します。パーセンテージが高いほど、時間がかかります。

[Setup Range]

100%

③ Setup Error Limit [6.3.4 Set Error Limit]

メディアのエラー許容範囲を設定します。▲▼ボタンでエラーリミット値を設定し、使用する単位(KB または MB)を選択します。

[Setup Unit]

MB

[Setup Error Limit]

9000MB

メディア品質チェック -その他のツール-

1. Measure Speed [6.2 Measure Speed]

メディアの読み書き速度を計測します。

- ① メディアをポートに接続し、[6.2 Measure Speed]を選択し、OK を押すと計測開始されます。

[Utility]
2. Measure Speed

[#02] Read: 14.7MB
Write: 7.0MB

- ② ▲▼キーを使用して、各ポート読み込みと書き込み速度を表示することができます。

注意

この機能はデータ保護のため、コピー元のポートでは実行できません。
メディア内のデータは消去されます。ご注意ください。

2. Capacity Check [4. Capacity Check]

この機能は、メディアの実容量を素早くチェックできます。

- ① フラッシュメディアを接続し、[4.Capacity Check]機能を選択して[OK]を押します。
- ② 緑色および赤色 LED が点灯し、チェック結果を表示します。
- ③ ▲▼ボタンで各ポートに接続したメディアの状態を確認できます。

緑色 LED: 容量 OK

[#02] SIZE: 3781M
Capacity OK

赤色 LED: エラー

[#04] SIZE: 8M
BAD!

Tips

メディアチェック機能は非同期操作に対応しているので、表示が終わったメディアから取り外しを行うことが可能です。

この機能はメディア内のデータが消去される可能性があるため、コピー元ポートに接続されたメディアにはこの機能を適用しません。

フォーマット機能 [6.1 Do Format]

注意

ポート1(コピー元)に接続したUSB メモリはデータ保護の観点からフォーマットできないようになっています。フォーマットしたい USB メモリはポート2またはポート3に接続してください。最大2個の USB メモリを同時にフォーマット可能です。
大量のメディアをフォーマットした場合、フォーマットが正常に完了しているか、最終的にいくつかのメディアで確認してください。

1. Auto Format [6.1.1 Auto Format]

- この機能はメディアを FAT フォーマットします。メディアを差し込み、「OK」を押します。システムは自動的に容量を検出し、容量ごとに最適なフォーマットを行います。
- メディアがすでに FAT16 または FAT32 でフォーマットされている場合、フォーマット形式が変更されることはありません。
- 元のメディアが FAT フォーマットではない場合 (NTFS、Linux、未定義等)、システムはメディアの容量に合わせて FAT フォーマットを行います。容量が 2GB 以上の場合は FAT32、2GB 以下の場合は FAT16 にフォーマットします。

容量が2GB 以下	FAT16 フォーマット
容量が2GB 以上	FAT32 フォーマット

2. FAT16 Format [6.1.2 FAT16 Format]

全てのメディアを FAT16 でフォーマットするよう設定します。

3. FAT32 Format [6.1.3 FAT32 Format]

全てのメディアを FAT32でフォーマットするよう設定します。

消去機能

1. クイック消去 [6.4 Quick Erase]

元のメディアフォーマットが FAT16 / 32 の場合、フォーマット形式を維持しながらフラッシュデータを消去します。▲▼ボタンで進行状況等の情報が表示できます。

注意

クイック消去機能は、FAT 16/32 でフォーマットされたメディアのみ消去可能です。その他のフォーマットの場合はフル消去をご使用ください。

[Utility]
4. Quick Erase

Do ERASE ALL
Confirm?

2. フル消去 [6.5 Full Erase]

フォーマットやデータ内容を含むメディア全体を完全に消去します。この処理には時間がかかります。この処理中に<ESC>を押すと、消去は中止されますが、内容は読み込めなくなります。

[Utility]
5. Full Erase

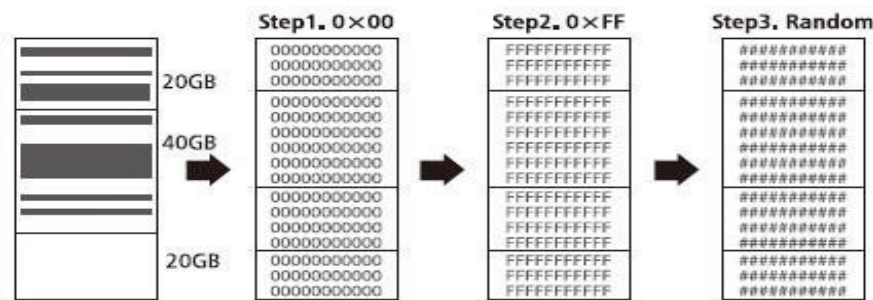
Do ERASE ALL
Confirm?

3. DoD 消去 [6.6 DoD Erase]

DoD 消去は、アメリカ防総省 (DoD 5220) 規格に準拠しており、メディアを 3 回消去することで、データが完全に消去されることを保証しています。

[Utility]
6. DoD Erase

Do ERASE ALL
Confirm?



Tips

▲▼ボタンを使用して、消去中の各ポートの状態を表示できます。

メディア/システム情報(メニュー 5. Information)

1. Flash Info [5.1 USB info]

USB メディアの基本情報(フォーマット形式、データ容量、総容量など)が表示されます。

▲▼ボタンを使用して、各ポートのメディアの情報が表示できます。

[#01]	3871M	メディアの総容量
FAT32		データ容量

Tips

この機能はメディアの内容を消去しません。

2. System Info [5.2 System Info]

この機能は、モデル番号やファームバージョンなどのシステム情報を表示します。

USB 1-31	▼ボタンを押すとさらに詳しい情報が表示されます。
Ver: 2.35.1	

その他の設定 [7. Setup]

1. スタートアップメニュー [7.1 Start-up Menu]

電源投入時、どのメニューを先頭に表示するかを選択できます。標準では[1.Copy]が選択されています。

[Start-up Menu] 1. Copy

2. 操作音 [7.3 Button Sound]

ボタン操作を行ったとき、操作音(ビープ音)を出す、出さないを設定します。

[Button Sound] ON

3. 言語 [7.9 Language]

言語を選択します(英語/日本語)。

※一部項目は日本語化されていません。予めご了承ください。

[Language] English

4. 速度設定 [7.10 Working Mode]

5つの速度設定があります。

- Slowest Mode
- Slower Mode
- Normal Mode (標準設定)
- Faster Mode
- Fastest Mode

[Select Speed] Normal Mode

高速なメディアを使用する場合は「Faster Mode」および「Fastest Mode」を使用することで、コピー速度を上げることができます。メディアの品質が不明、またはコピーに失敗する場合は「Slower Mode」もしくは「Slowest Mode」を使用してください。標準設定は「Normal Mode」になります。

6. USB HDD モード [7.11 Set HDD Mode]

USB HDD (主に 2.5" HDD) をコピーする際に設定する項目です。USB HDD をコピーする際は「Active Mode」を選択してください。USB メモリのコピーの場合は「Inactive Mode」を使用してください。
※バスパワータイプの USB HDD の場合、電力供給が不足してコピーできない場合があります。

[Set HDD Mode]

Active Mode

注意

Active Mode に設定する理由は、USB-HDD のフォーマット形式 (主に NTFS) に対応するためです。また、Active Mode に設定すると、Whole Copy (セクタコピー) において大容量→小容量のコピーが出来なくなります (インデックスファイル破損の恐れがあるため)。

システムアップデート (ファームウェアアップデート)

1. ファームウェアが入った USB メディアを準備する

U-Reach の Web サイトからのダウンロード、または U-Reach が提供したファームウェアを USB メディアにコピーします。

注意

USB メディアは必ず FAT16 または FAT32 でフォーマットしてください。それ以外のフォーマット形式ではファームウェアを読み込むことができません。

2. ファームウェアアップデートを実行する

ファームウェアの入った USB メディアを接続し、[6.7 Update BIOS] を選択して OK を押すと、ファームウェアのアップデートが開始されます。

注意

ファームウェアの更新には5分ほど時間がかかる場合があります。更新中は絶対に電源を切らないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、システムが確実に起動しなくなります。この場合、保証の対象外となる場合がありますので、ファームウェアのアップデートは慎重に行うようお願いいたします。

Q&A

Q1: PC ベースのデュプリケーターとの違いは何ですか？

A: 4 つの主な違いがあります。

- ① マルチタスク処理: U-Reach デュプリケーターは、コピー、その他の処理を全てのポートにわたって同時並列的に処理します。PC の場合、高性能 CPU であっても複数のメディアに対して同時並列で処理を行うことは困難なため、メディアの数が増えるほどコピー速度は低下してしまいます。
- ② ウィルス感染リスクがない: 本製品はスタンドアロンで動作するシステムのため、ネットワークと繋がることはありません。そのため、PC と比較してウィルス感染リスクは極めて低いといえます。
- ③ コピーの正確性: PC の場合、コピー処理の最中でもバックグラウンドで様々な処理が行われているため、コピー速度に影響したり、コピーが失敗する可能性もあります。U-Reach デュプリケーターは専用機器になりますので、コピーその他の処理を確実に実行し、正確なコピーを行います。
- ④ システムの起動時間が短い: PC と比較して、システムの起動時間が短いため、電源投入後、すぐにコピー等の処理を開始することができます。

Q2: FAT 以外のフォーマット形式 (NTFS 等) もコピー可能ですか？

A: システム & ファイルコピーにおいては FAT16/32 の他、NTFS および Linux 形式の EXT2/3/4 フォーマットに対応しています。さらに、セクタコピーの場合、フォーマット形式を問わず、どのようなフォーマットでもコピーが可能です。

Q3: コピー後、データの正確性を確認するにはどうすればいいですか？

A: コンペア機能 [2. Compare] を使用することで、データの正確性を確認できます。

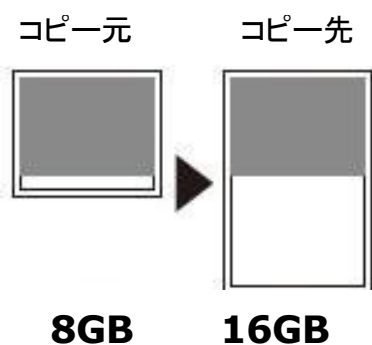
Q4: コピーに失敗した場合はどうすればいいですか？

A:

- ① コピー元の容量がコピー先の容量以下であることを確認してください。[5.1 Flash Info] でコピー元、コピー先のデータサイズと容量を表示できます。
- ② コピー元のメディアが破損していないことを確認してください。
- ③ コピー先メディアの転送速度が遅い等、メディアの品質に問題がある場合、コピーに影響が出る可能性があります。次の機能を使用してメディアの品質チェックと転送速度の設定を行ってください。
(1) [4. Media Check] でコピー元とコピー先の両方の品質をチェックします。
(2) コピー速度を遅くするには [7.10 Select Speed] を選択し、“Slower” または “Slowest” に設定してください。

Q6. 8GB のメディアから 16GB のメディアにコピーできますか？

A: 可能です。ただし、8GB の部分でパーティションが区切られてしまうため、16GB をフルに使用するためには PC 上でパーティション情報の変更等が必要になります。

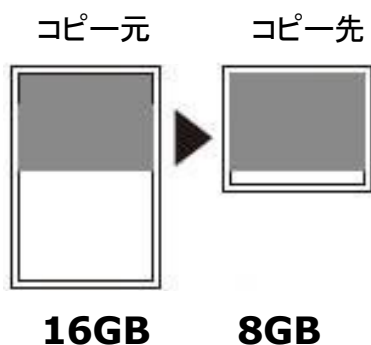


コピー可能
※8GB の部分でパーティションが区切られるので、16GB 使用するためには PC 上でパーティション情報の変更等が必要になります。

Q7. 16GB から 8GB へのコピーは可能ですか？

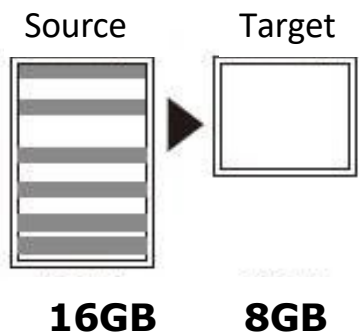
A: セクタコピーにおいて可能ですが、コピー元のデータ容量はコピー先の容量以内でなければなりません。また、データが記録されている位置によってはコピーの範囲外になることもあり、完全にコピーできるとは限りません。そのため、可能な限りコピー先の容量はコピー元と同等または大きいものを使用することをお勧めします。

(1) データがコピー先の容量以内の場合



コピー可能
※セクタコピーに限ります。

(2) データがコピーの容量より後ろにある場合



コピー不可
コピー出来た場合でもデータが破損している可能性があります。

製品仕様

製品名	1:2 USB デュプリケーター UB300	
仕様	対応容量	2TB までの USB メモリ、USB HDD
	動作仕様	スタンドアロン
	言語	英語/日本語
	LCD ディスプレイ	モノクロ LCD ディスプレイ
	ステータス LED	赤・緑 LED/各ポート
	操作ボタン	4 プッシュボタン (▲, ▼, OK, ESC)
特長	コピー機能	システム&ファイルコピー
		セクタコピー
		非同期コピー
	コンペア機能	Bit-by-bit コンペア
	検査機能	H3 Test: 読み込みテスト
		H5 Test: 読み込み/書き込みテスト
	消去機能	クイック消去、フル消去、DoD 消去
フォーマット機能	FAT16 または FAT32 でのフォーマット	
特長2	対応フォーマット形式	システム&ファイルコピー: FAT16/32/64, NTFS, Ext2/Ext3/Ext4
		セクタコピー: 全てのフォーマット形式に対応
ハードウェア仕様	電源	5V DC アダプター
	動作温度	5° C ~ 45° C (41° F ~ 113° F)
	保管温度	-20° C ~ 85° C (-4° F ~ 185° F)
	動作湿度	20% ~ 80%
	保管湿度	5% ~ 95%
	寸法	W120mm x D130mm x H25mm
	重量	約 200g
	認証	FCC, CE, RoHS

*仕様は予告なく変更する場合があります。